大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう　立志の丘から

学校通信

平成２７年９月１０日
No.２１

初めての「弁当の日」

９月７日、本校では初めての「弁当の日」が実施されました。昼食時間、生徒たちはそれぞれのグループごとに、持参した弁当を広げ楽しそうに食べておりました。

家庭での、昨日、また、朝の様子はいかがだったでしょうか。

・食事を作ることのたいへんさがわかり、家族をありがたく思った人は、優しい人です。
・手順よくできた人は、給料をもらう仕事に就いたときも、仕事の段取りのいい人です。
・食材がそろわなかったり、調理を失敗したりしたときに、献立の変更ができた人は、工夫できる人です。
・友達や家族の調理の様子を見て、一つでも技を盗めた人は、自ら学ぶ人です。
・かすかな味の違いに調味料や隠し味を見抜けた人は、自分の感性を磨ける人です。
・旬の野菜や魚の、色彩・香り・触感・味わいを楽しめた人は、心豊かな人です。
・一粒の米、一個の白菜、一本の大根の中にも「命」を感じた人は、思いやりのある人です。
・スーパーの棚に並んだ食材の値段や賞味期限や原材料や産地を確認できた人は、賢い人です。
・食材が弁当箱に納まるまでの道のりに、たくさんの働く人を思い描けた人は、想像力のある人です。

・自分の弁当を「おいしい」と感じ「うれしい」と思った人は、幸せな人生が送れる人です。

（「始めませんか　子どもがつくる『弁当の日』」
鎌田實　対談　竹下和男　自然食通信社　より）

西仙北中学校招待野球大会　開催

平成２７年度秋季　大仙市立西仙北中学校招待野球大会が、９月５日に、太田中学校、大曲南中学校、そして、この夏に全県少年野球大会で優勝を果たした稲川中学校を招いて行われました。

本校は決勝戦で、全県チャンピオンの稲川中学校に挑戦しましたが、現状では総合力で少し力の差がありました。

ぜひ、稲川中学校の当該プレー以外でのきびきびとした真摯な姿勢・プレーを参考にして、今後のレベルアップを図ってほしいものです。日々の生活から積み重ねられる心と体の力を身に付けて、個人としてもチームとしてもたくましく成長してほしいと願っています。

秋田県中学校秋季水泳大会

９月５日・６日、県立総合プールで第３１回秋田県中学校秋季水泳大会が開催されました。

本校からは１年生の工藤君が男子２００M自由形と、４００M自由形にエントリーし健闘しました。２００Mも、４００Mも共に自己ベストタイムを更新できたそうです。おめでとうございます。

3年生数学科の研究授業

８日､「１０年経験者研修　事務所研修」として、本校で３年生の数学科の研究授業が行われました。

この研修は、採用から１０年を経過した教員の法定研修であり、初任者研修と並んで、必ず行われなければならない重要な研修であり、総合教育

センターでの講義や異業種での体験研修、そして、教員としての指導力の向上を図る授業研究などを、１年間を通して行う研修です。

今回は、本校の佐々木教諭が、３年生の数学科において「条件に従って畑に道路を作るときの幅を、二次方程式を使って求める」研究授業でした。

生徒は、道路の面積に注目する解き方と、畑の面積に注目する解き方について考え、それぞれのよさを比較・検討するとともに、二次方程式の解は二つあるが、問題の答えは一つであることを吟味しました。

研修に参加した他校の２名の研修者と授業等について協議するとともに、県教育庁南教育事務所仙北出張所加藤指導主事からご指導をいただきました。

生徒たちは、ノートの取り方・使い方等がしっかり確立されており、課題解決に自ら向かう姿勢があり、主体的な学習で、これまでの学習の積み重ねが察せられると褒めていただきました。また、グループで自然に聴き合える関係があり、人間関係の良好さ、学び合いの姿が見られるともお話しいただきました。

加藤指導主事からは、「他教科では単元の見通しということも大事であるが、数学科は１時間完結型の授業を目指し、授業の導入時には、１時間の見通しとともに自力解決の見通しをもたせることが大事である。佐々木教諭は見通しをもたせる工夫があり、生徒の主体的学習を促している。また、道路を移動させる考えに気付かせるために、課題プリントを一様にしなかったり、生徒の手元に図を準備したりと支援の手立てがあり、生徒の気付きをよく取り上げて板書構成も工夫し、生徒の考えを広げていた。さらには、既習事項を生かした導入の在り方や、図への表示と生徒発表をリンクさせて考えを深める点などにも取り組んでほしい」などの助言がありました。

全国学力・学習状況調査の質問紙において、「数学が分かるようになりたい」「数学は大事だ」の回答はほぼ１００％という３年生と、佐々木教諭の真摯で工夫された数学科の授業は、研修として参観の価値ある授業でした。

思春期こころの健康講演会

９日は、本日は、臨床心理士の浅沼先生にお出でいただき、「思春期こころの健康講演会」が行われました。

この講演会は、大仙市が市内の中学校全てで毎年行っている事業であり、中学生及び関係者が思春期の精神保健に対しての理解を深め、思春期における心の健康づくりと自殺予防を推進することをねらいに行っている講演会です。

本校では毎年、１年生を対象に講演していただいており、本日も１年生全員が、「思春期の心とからだ～コミュニケーションについて」のテーマの下、よりよい人間関係を築くための言葉かけや行動について、友達との関わり方やコミュニケーションの大切さなどについて、浅沼先生から教えていただきました。

講演を聴いた生徒たちからは、「言葉は相手のことを思いやって使わなければいけないと思っいました」という感想が述べられました。また、「自分の考えを伝えたときに受け入れられなかった場合はどうしたらいいのでしょうか」という講演内容を踏まえた質問もあり、浅沼先生からさらに丁寧に答えていただきました。ありがとうございました。

【御礼】

だいせん防災教育「生き抜く力育成事業の中核をなす「避難所開設訓練」を８月２９日に行い、刈和野在住の方から匿名の励ましのお葉書をいただいたことをお伝えしましたが、その後、訓練に参加していただいた強首地域の小山田吉伸様から、当日の活動を記録したＤＶＤを寄贈いただきました。貴重な記録で、今後の活動の参考にしたいと思っております。ありがとうございました。